|  |
| --- |
| フォトニクスニュース原稿作成要領The format requirements for the manuscript氏　　名　　Name所属，〒000-0000 所属住所Affiliation,，0-0 adress, zip:000-0000 Japan |

Abstract：The format requirements for the manuscript to be submitted to Photonics News of Japan Society of Applied Physics are described. The manuscript should be neatly prepared on A4-size white papers according to the format requirements. Articles completed peer review will be published in the A4-size.

Keyword：style manual, manuscript, reduction rate

はじめに

「フォトニクスニュース」の投稿原稿は，投稿いただいた原稿を基に印刷用レイアウトに仕上げます．文章はワープロソフトを用い，横書きで作成してください．以下に本誌の原稿作成要項を示します．

用紙サイズとフォーマットの概略

原稿はA4サイズで作成してください．

本文の前に，

**①和文タイトル**

**②英文タイトル**

**③著者名（和文表記），**

**④著者名（ローマ字あるいは原文表記）**

**⑤所属ならびに所在地（和文表記）**

**⑥所属ならびに所在地（ローマ字あるいは英文表記）**

**⑦英文アブストラクト（40～100語程度）**

**⑧キーワード（10語以内）**

を記載してください．

書式

本文の書き出しは一字空けて記載してください．記載の形式は以下の通りです．下記に沿って原稿を作成してください．

**1．体裁，文字数等**

　原稿のフォーマット（文字サイズ，フォント，余白等ページ設定）は，とくに指定はしません（レイアウトは，タイトル：22pt／著者名・所属：9pt／英文アブストラクト・Keyword：10pt／見出し：12pt／小見出し：10pt，本文：10pt／参考文献：8pt，で行います）．

ご提出いただいた原稿を，24字×46行×2段組（2,208文字）でレイアウトします（タイトルページは，24字×20～30行×2段組．Abstract等の分量に拠ります）．目安として，テンプレート［本ファイル］ならびにレイアウト見本をご参照ください．

**2．文体**

「である」調でご執筆ください．

**3．句読点**

「，」「．」を用いてください．

**4．英数字**

半角フォントを使用してください．

**5．見出し**

見出しは，ボールド，ゴシック等で記載してください．番号はつけなくて結構です．さらに項目分けが加わる場合は，小見出しをつけ，番号をつけてください．

図，表，写真ならびにその説明

図・表は，別ファイル（画像ファイルまたはpptファイル等），または本文に貼りつけて提出してください（できるだけ文字データがコピーできる形式で）．

写真は白黒とします．

図と写真は同じ扱いにしてそれぞれに通し番号をつけ，その説明文は，図・写真の場合には，その下に図1，図2と番号をつけ，タイトル・説明文を記してください（レイアウトは，タイトル：9pt，説明文：8ptで行います）（図1）．表の場合には，その上に表1，表2と番号をつけてください．

図1

  Aは

図・表のサイズは原則として，横幅はページ半段，位置はページの上か下にまとめてレイアウトします．　挿入位置の目安にしますので，本文中の説明該当箇所に「（図1）」と記載してください（図1）．

数式や記号の表記

数式は，ワープロソフトの数式機能で作成してください．式にはカッコ（　）で囲んだ通し番号をつけ，その行の右端に置き，数式は文章の一部とみなし，式の直後に，文脈に応じてピリオド「．」あるいはコンマ「，」をつけてください．物理量を表す文字は斜体（イタリック），その他の文字は立体（ローマン）を用い，単位の記法は原則としてSI単位系を用いてください．

謝辞

謝辞は，参考文献の前に書いてください．

謝辞（例）

「この研究は###の補助を受けて実施した研究成果である．」

シンポジウム報告の場合

フォトニクス分科会主催のシンポジウムで報告した内容を審査付の「研究論文」「実践報告」「ノート」として投稿する場合は，謝辞の後に次のように書いてください．

「本論文の内容は##月##日に@@で開催された『第##回フォトニクスに関するシンポジウム』で報告したものである．」

参考文献の表記

文献は，本文末尾に項目を設けてまとめて記載してください．本文中には通し番号で，文章の句読点の前に2,3）などと上付き文字で記載してください．なお，文中に文献を引用する際は，文献1と記載してください．

**1．参考文献表記例（1：単行本，2：学会雑誌（学術論文誌など），3：国際会議等の予稿・論文または公開している会議記録など）**

1　単行本：著者, タイトル，章，編者，(出版会社, 出版年）ページ，の順で記載してください．ページの記載は始ページと終ページを pp.1-12のように記載してください．

2　学会雑誌：著者, 雑誌のタイトル，巻（年），ページ，の順に記載してください．

3　国際会議等あるいは公開している会議報告：著者， 論文タイトル，会議論文集のタイトル, 講演番号等，（年），ページの順に記載してください．電子媒体等でページがない場合はページを記入する必要はありません．

著作権譲渡同意書

　原稿依頼時にお送りする「著作権譲渡同意書」にご署名の上、原稿とあわせてご提出ください（電子ファイルで結構です）．

**【参考文献】**

1) 応物次郎：”基礎物理学,” 6章, 応物三郎編 (応用物理出版社, 2010) pp.1-12．

2) Photon N：”Principles of Photonics,” Light L, ed. (Photonics Press, 2000) pp. 33-39.

3) 田中光子: “光応用教育,” 17 (2) (1994) 115-119.

4) Photon N, Tanaka K: “News of Photonics,” Appl. Photo., 19 (2) (2013) 172-178.

5) 生体太郎: “バイオフォトニクス,” 第120回応用物理学会秋季学術講演会講演予稿集，13a-2S-7 (2000) 268-269.